



令和8年1月5日 (R7-009)

県政記者クラブ 各位

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

国内最大級の3Dプリンタ技術展示会に出展します ～全国の公設試験場が連携して金属3Dプリンタを紹介～

地方独立行政法人岩手県工業技術センター（理事長 熊谷泰樹／盛岡市）では、2026年1月28日（水）から1月30日（金）に東京ビッグサイトで開催される「TCT Japan 2026 - 3Dプリンティング& AM技術の総合展 -」において、「金属AM公設試パビリオン」に出展しますのでお知らせします。

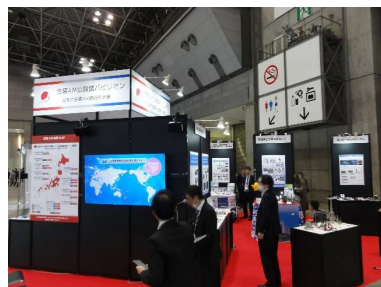
【 概要 】

◆ 展示会について

- 名 称：TCT Japan 2026 - 3Dプリンティング& AM技術の総合展 -
- 開催日：2026年1月28日（水）から1月30日（金）
- 会 場：東京ビッグサイト 南3ホール（東京都江東区）
- 入場料：無料

◆ パビリオンについて

- 名 称：金属AM公設試パビリオン
- 全国の都道府県から、金属3Dプリンタを保有する公設試験研究機関（公設試）が集まり、各機関の持つ装置や技術を紹介する共同展示エリアです。
- 当センターからは、保有する2機種の金属3Dプリンタ（電子ビーム方式、レーザービーム方式）を用いた研究成果や企業支援事例のほか、造形サンプル等を展示します。



金属 AM パビリオンの様子(2025 年)



当センター造形サンプル例

- 「TCT Japan 2026」は、国内最大級の 3D プリンタ関連技術の展示会です。3D プリンタのほか、幅広く関連技術・製品が一堂に会する総合展となっています。
- 当センターでは、県内企業の皆様に対する技術的な支援を目的として、研究活動や試作品の造形、人材育成などに、保有する金属 3D プリンタを活用しています。



【関連情報】

● AM技術

Additive Manufacturing（付加製造）技術の略。3Dデータをもとに、材料を一層ずつ積み重ねて立体物を作る技術のこと。積層造形。一般的に、3Dプリントとも呼ばれる。

● 金属3Dプリンタ

金属を材料とした立体物を造形できる3Dプリント装置。金属積層造形装置、金属AM装置。

造形手法によっていくつかの種類があり、岩手県工業技術センターでは、PBF方式（Powder Bed Fusion。金属粉末を敷き詰め、レーザーや電子ビームを照射して粉末を熔融・凝固させ積層する方式）の金属3Dプリンタを2機種保有している。

都道府県等に設置されている工業系公設試のうち、全国で25機関が金属3Dプリンタを保有している。（2025年時点）

●（地独）岩手県工業技術センターウェブサイト

<https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/>



● 当センター金属3Dプリンタの詳細（PDF）

<https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/innovationcenter/pdf/kinzoku3D.pdf>



◆ 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

「創るよろこび・地域貢献」を基本理念として、県内企業への幅広い技術支援を実施。

7部門の研究部（電子情報システム部、機能材料技術部、素形材プロセス技術部、DX推進特命部、産業デザイン部、醸造技術部、食品技術部）を設置し、技術相談への対応、依頼試験や機器貸出、企業との共同研究などを行っています。

1873（明治6）年創立。2023年に創立150周年を迎えました。